

愛、知、和

No 1 平成29年 5月16日
発行 大宮開成中学・高等学校
生徒指導部

21世紀を担う調和のとれた人間教育

1、講師紹介 いけだ 池田 だいすけ 大輔 先生

東京大学宇宙線研究所の特任助教授。春日部高校卒業後、千葉大学、その後東京大学大学院に進学し、物理学を学ぶ。博士課程を最短で修了後、現在の職務に就く。超高エネルギー宇宙線を研究テーマとし、アメリカユタ州にある砂漠地帯での望遠鏡アレイ実験、また各国で開催される国際学会への参加のため、日本と海外諸国を往復している。

2、講演内容

まず始めに池田先生の研究内容（高エネルギー宇宙線）についての説明をしていただきました。その後、アメリカでの研究について触れていく中で、現地の人々との交流の仕方、日本とは異なる文化での生活の困難さや楽しさを話してくれました。話の中でも特徴的だったものが、

①世界は意外と狭い。海外でも日本に触れることができる。

（日本食がスーパーで売られている、マンガやアニメ好きが多く、話題のきっかけになりやすい）

②日本人以外でも英語が苦手な外国人は実は多い。

（共同研究している国で英語を公用語としている国が少なく、皆が独自の英語“なまり”で話している）



まだ海外経験の無い生徒たちにとっては安心感を覚える話が多くありました。また最後に、『どれだけ学んでも知識不足、知っておいて損をするということは絶対はない。将来の可能性を狭める事のないように勉強はしっかりとしておこう！』と言って、まだ将来が明確ではないものの、それが定まった時に消極的な選択を採ることがないようにというアドバイスをさせていただきました。

3、生徒の感想

○海外研修が控える中、現地の方々とのコミュニケーションがとれるのか不安でたまりませんが、今回の講演内容を参考にし、多くを実践に移していきたいと思います。そして、海外の方々に日本人の「おもてなしの心」が少しでも伝わればいいなと思います。

○今回の講演で初めて宇宙線の存在を知りました。まだまだ、世の中知らないものに溢れているんだなと思いました。理科が得意ではない私にとって、池田先生の研究のお話は難しいものでしたが、砂漠から見た天の川がとてもきれいだということ、池田先生の宇宙線に対しての愛が伝わってきました。

○世界中を飛び回って研究しているとのことで、英語ではたくさんの専門用語を使っていて私たちの英語のコミュニケーションとは少し違うのではないかと感じていました。しかし、おっしゃっていたことが、学校の先生と重なっているところもあって、改めて勉強になりました。また、外国の方には積極的に話かけていくのが、大切なんだと分かりました。

○海外での生活の話は特に印象に残りました。僕は外国で日本人が生活するのはとても大変なことで、もともと英語が得意でないと外国に行くのも難しいと考えていましたが、この講演を聞いて「英語が苦手な外国人は意外と多い」ことを知り少し自信が出ました。